

元京都市ラクト健康・文化館の活用の方向性について

元京都市ラクト健康・文化館（以下「当該施設」という。）については、令和5年度に、プール等の既存機能を生かしたスポーツ施設として運営再開することを条件に民間事業者を公募・選定しましたが、契約締結前の令和6年6月に、契約候補事業者が資材価格高騰等を理由に辞退されました。

その後、用途をスポーツ施設に限定せず、有効活用のアイデアや実現可能性を幅広く聞くためにサウンディング型市場調査（※）を実施するとともに、meetus(ミータス)山科-醍醐における意見募集において市民の皆様からいただいた御意見も参考に活用策を検討してきました。

検討の結果、今後、当該施設は、あらゆる世代が集う遊びと学びの拠点として、山科図書館の移転・機能充実と、本市の東部地域初となる大型の子どもの屋内遊び場を中心に活用することとし、本年3月19日に、meetus 山科-醍醐「みんなで創るまち PLAN」における具体策として発表いたしましたので、これまでの主な経過や、施設の有効活用の考え方等について御報告します。

（※）サウンディング型市場調査

公有財産の活用や民間活力導入の検討などを行う際、事業発案や事業化検討段階において、事業者等との対話を通じ、アイデアの収集や市場性の有無、実現可能性の把握を行うもの。

1 これまでの主な経過

令和5年 7月 ～9月	京都市ラクト健康・文化館活用に係る契約候補事業者の公募
10月	京都市ラクト健康・文化館活用に係る契約候補事業者の選定
12月	京都市ラクト健康・文化館条例を廃止する条例の議決（11月市会）
令和6年 6月	当該施設の活用に係る契約候補事業者の辞退
6月	当該施設の活用に係るサウンディング型市場調査を開始
12月	当該施設の活用に係るサウンディング型市場調査の結果を報道発表
令和7年 3月	meetus 山科-醍醐「みんなで創るまち PLAN」の具体策として当該施設の活用の方向性を発表

2 有効活用の考え方

サウンディング型市場調査やmeetus 山科一醍醐の意見募集でいただいた御意見等を参考にしつつ、活用策を幅広く検討した結果、当該施設は山科図書館の移転・機能充実と大型の子どもの屋内遊び場を中心に活用することとし、これにより、本市が目指す「山科のまちづくり」等を前進させることができると考えています。

(1) 山科のまちづくりの方向性等

ア 文化・教育は、まちの魅力を高め、また、子どもの可能性を広げるものであり、まちづくりにおいて非常に重要なものであること等から、meetus 山科一醍醐では、まちの将来像として「文化・教育のまち」を掲げています。

イ 第3期山科区基本計画では、地域の見守り、地域との関わりのなかで、安心して子育てでき、子ども・若者が将来の展望を持って成長できるまちづくりを進めることにより、次世代を担う子ども・若者や新婚世帯、子育て世帯が「山科区に住んでみたい」「山科区に住み続けたい」と実感できるまちを目指すこととしています。

(2) 公共空間をまちに開くパブリック「テラス」プロジェクト

令和7年3月に策定した「新京都戦略」では、公園や学校、ホール等の公共空間を市民や多様な主体が活用しやすくなるように、あり方を見直し、開かれたテラスのように気軽につどい・つながり・交ざり合う機会を創出するとともに、図書館における交流機能を高めるなど多機能化し、居心地の良い居場所づくりに取り組むこととしています。

(3) 京都市はぐくみプラン<2025-2029>における「こどもまんなか社会」づくり

令和7年3月に策定した「京都市はぐくみプラン<2025-2029>」では、目指すべきまちの姿を「こどもまんなか」のまち・京都とし、子ども・若者、子育てにやさしい「こどもまんなか社会」づくりに向けた具体的な施策として、「多様な遊び場の拡充」を掲げ、当該施設に、天候に左右されない全天候型の遊び場の確保に向けた検討を行うこととしています。

3 今後の取組

(1) 令和7年度の取組

令和7年度は、当該施設への山科図書館の移転・機能充実と大型の子どもの屋内遊び場の併設に向けて、施設の機能・レイアウトなど、以下の内容について詳細な検討を進めてまいります。

ア 施設の機能・レイアウト（市民や事業者、有識者の声を聞きながら検討）

- ・ 図書館や遊び場との相乗効果が期待できる機能
- ・ 図書館と遊び場が一体となった、誰もが居心地が良いと感じる空間づくり
- ・ 新たなつながりや交流が生まれるような機能
- ・ 民間の創意工夫により利用者の利便性や事業採算性を向上する機能 など

イ 概算事業費やスケジュール

ウ 民間活力の導入を含めた整備・運営スキーム など

(2) 令和8年度以降の予定

令和7年度に具体的な施設の機能・レイアウトやスケジュール、民間活力の導入を含めた整備・運営スキームなどの検討を行い、その結果を踏まえ、令和8年度以降に施設の設計や整備を進め、meetus 山科-醍醐におけるロードマップでお示ししている令和10～12年度の活用開始を目指してまいります。

<参 考>

当該施設の概要

- (1) 所在地 京都市山科区竹鼻竹ノ街道町91番地
ラクトB 5、6階
- (2) 延べ床面積 2,539.16 m² (5階1,367.07 m²、6階1,172.09 m²)
- (3) 位置図

